



実用新案登録願

(4,000円)

昭和 54年 7月 31日

特許庁長官 川原能雄 殿

1. 考案の名称

オータタージテンシャ 折り畳み自転車

2. 考 % 者

ロコペマシホドガヤタカリバチョウ 住 所 神奈川県横浜市保土ケ谷区幹場町 308番146

3. 实用新案登録出願人

住 所 東京都午代田区大手町2丁目6番1号 アサビトウカイ カイ 朝日東海ビル 19階

名称ウシオ電散株式会社代表者 木下幹 類

4. 代 理 人

曲 原 〒105 東京都港区虎ノ門1丁目18番1号

第10歳ピル8階

電話(501)0937~8番

5. 添付貴順の日録

(1) 中 和 乃 1 延 (2) 小 八 随 1 通 (3) 賢 乃 尚 孝 1 通 (4) 小 委 任 秋 1 通



22182

54 104791

- 1.考案の名称 折り 畳み 自転車
- 2.実用新毎登録請求の範囲
- 略四辺形の3枚の枠を互に平行に鱗隔して配 置し互に結合せしめて形成した機枠と、この機 枠の略中央部に設けたその高さを可変をらしめ たサドルと、前配機枠に設けたその高さが可変で、 垂底軸の周りで回動自在であり且つ前記枠枠の 前端上部で2つ折り可能としたハンドル支持機権 と、このインドル支持機構の上端に取り付けた2 つ折り可能なハンドルと、前記掛枠の前端下部に おいて機枠の後方に傾動して掛枠下部より前配 2枚の枠内に入り込むよう敷配ハンドル支持機構 に連結した前翰支持機構と、この前輪支持機構 によつて支持した前輪と、前記券枠の鉄端下部に ないて推枠の前方に傾動して機枠側方より前記 2枚の枠内に入り込むよう前配機枠に枢支した袋 輪フォークと、この後輪フォークによつて支持した 後輪と、この後輪の中央部に 固定した小径チェーン ホイールと、新配機枠の中央下部に回動自在に

支持せしめた大径チェーンポイールと、前配 2 つのチェーンポイール間を連続するチェーンと、 前配大径のチェーンポイールの軸の両端に失々 股けたその向きが可変のペダルとより成ること を特徴とする折り畳み自転車。

3. 考案の詳細を説明

				• •		
	(1)					
		Ÿ				
	1					
		with the second				
						•
						•
•		5.0			,	
			•			
					2	
					3.7	light -
•						
				•		
					· •	
÷.		100				

公開実用 昭和56-22182

方に類動自在なるよう前配下部 6 b に 核支したハ ンドル用中空管、1mはこのハンドル用中空管の 上部 6 m の傾動を禁止するストッパー、 B は前配 ハンドル用中空管6の上部68に挿通したハンド ル杆、 4 b はとのハンドル杆 8 をハンドル用中型 管6の上部6章に任意の位置で掛止せしめるため のストッパー、9はその内端部をハンドル杆8の 上端に回動自在に枢支した左右の素子98,9b より成るハンドル、 T O はハンドル素子 9 a , 9 b が一般となる状態でとれを前配ハンドル杆8に固 定せしめるためのストッパー、11は前記ハンド ル用中空管 6 の下部 6 b の下端に連結した回動自 在の前輪ステム、12はこの射輪ステム11を支 持するため前配併枠1に固定した支管、13は4 停しの前端下部において後方に傾動して機停下部 より船配2枚の枠1 4、1 6内に入り込むよう前 肥前輪ステム11の下端に松支した前輪フォーク、 7 b は前記前能フォーク13 の傾動を禁止するス トンパー、14は前記前輪フォーク13により回 割自在に支持せしめた前輪、15は新記機停1の

後端下部においてその基部を物枠の前方に傾動し て機枠倒方より前記2枚の枠1 a , 1 b 内に入り 込むよう前配枠枠1に根支した三角状の後輪フォ ーク、16はこの後数フォーク15によつて回動 自在に支持せしめた移輸、17は新駅移動フォー ク15の基部上端に係合して後輪16の個面を繋 止し使用位置に保持するため酢配核枠1に移動自 在に設けた極状ストッパー、18は前野移輸16 の中央部に固定した小径のチェーンホイール、 19は前配修枠1の中央下部に周動自在に支持せ しめた大径のチェーンホイール、20,21廿夫 夫前配2つのチェーンホイール18,19間にお いて協称1に回動自在に支持せしめた同軸状の小 **徭及び大径の中間チェーンホイール、22,23** は失々前記チェーンホイール18と21及び20 と19間に態架したチェーン、24点,246 は夫 夫大任のチェーンホイール19の帥19′の両端に その向きを可変化設けたペダルを示す。

本考案におけるストッパー4 a , 4 b は互に同一構成とし、。第 2 図に示すようにサドル用中空管

2 又はハンドル用中空管 6 の上部 6 a 化一端を収支したストツパー杆 2 5 と、このストツパー杆 2 5 の係合面 2 5'を常時サドル杆 8 又はハンドル杆 8 の側面に対接するよう前記ストツパー杆 2 5 と前記サドル用中空管 2 又はハンドル用中空管 6 の上部 6 a 間に介揮したスプリング 2 6 とによって形成せしめる。

又ストンパーでも、でもも互に同一様成とし、 第3回に示すようにハンドル用中空管もの下部6b 又は前輪マオーク18に回動自在に収支した保止 杆2でと、この保止杆2での保止部2でに保合する。 が配パンドル用中空管もの上部 6 × 又は前輪ステム11に固定した突部28と、 前記保止杆2でそその保止部2でが常時前記突部 28に係合するよう抑制するスプリング29とに よつて形成せしめる。

又その向き可変のペダル 24m. 24b は 夫々第4 関に示すように大径のチェーンホイール 19 の針 19' に固定したペース 30 と、このペース 30 の上面に形成した凹部 31と、ペダル 24m (24b)

のクランク32の下部に形成した前配凹部31に保合する突部38と、前配凹部31と突部33が 豆に保合するよう両者を抑制する抑止機構34と により形成し、抑止機構34を移めればペダル 24x(24b)のクランク32がその軸方向に移動し凹部31と突部33の保合が外れ、クランク 32をその軸の局りに回動してペダル24x(24b) が機枠1から突出しない向きとすることができるようにする。

又ストッパー10は第5 関。# 6 関に示すよう に左右の妻子9 m , 9 b の内端部に失々形はした 左右の妻子9 m , 9 b を一部をかすように拡けた とき失々の合致するようになるノッチ35 m , 3 5 h と、この合致したノッチ内に係合するようが則さ れた係合子3 7 とにより形成せしめる。

本考察折り景み自転車は図示しないがこの他従来野知のヘッドライト。プレーキ、帯報ブザー等を具備するものである。

本考案折り畳み自転車は上配のような構成であ

8

るからこれを折り畳む場合には先づ4bのストッ パー杆25をスプリング26に抗して押し上げて ハンドル杆目とストツパー杆25の係合を外しハ ンドル杆 8 をハンドル用中空管 6 の上部 6 a 内に 押し込む。次にストツパー10の係合子87をス プリング36に抗して水平方向に偏位してハンド ル第子91,9bのノツチ351,35bょり外し、 ハンドル妻子9a,9bを互に撃なるよう折り費 か。次にストッパーで1,7日の保止杆27をス プリング 27 化抗して押してハンドル用中空管 6 の上部 6 * を下部 6 かに対し後方に係動して伊神 102枚の枠1a,1b内にその上方から挿入せ しめると共に前輪14を前転フォーク18と共に その私支部で後方に折り曲げとれらを同じく粉枠 1 の称 1 a , 1 b 内にその下方から挿入せしめる。 次いで棒状ストッパー17を持ち上げを輸フォー クリラの基部上端との係合を外して接触16を後 輪アオーク15、小径チェーンホイール18と共 に前方に恰動し回じく サ 静 1 の 静 1 a , 1 b 内 に その例方から挿入せしめる。次にストッパー4a

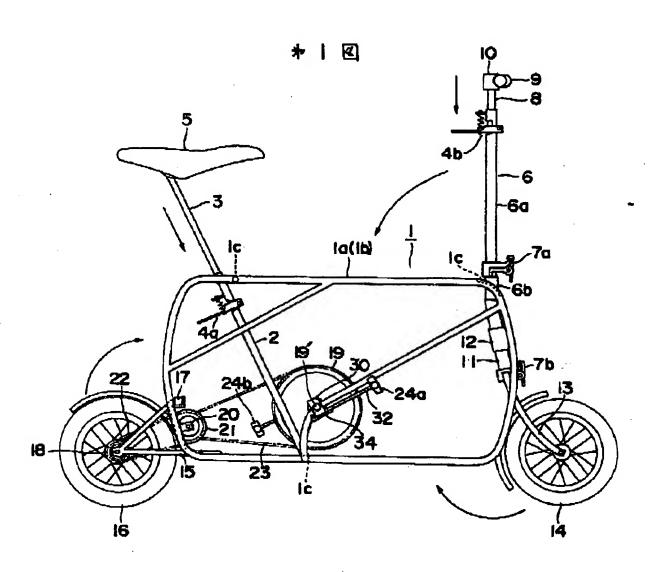
のストッパー杆25をスプリング26に枯して押し上げてサドル杆3とストッパー杆25の係合を外しサドル杆3をサドル用中準管2内に押し込む。次いで抑止機構34を移めてペダルのクランク32をその軸方向に移動し凹部31と奥部33の係合を外し、クランタ32をその軸の向りに90°以上回動してペダル26m(24b)が機棒1外から外方に突出しないようにする。

本考察折り針み自転車は上計の通りであるから その折り借み状態においては各部の機構が総べて 略四辺形の微砕1内に格納された状態と方り、折り骨みのまりを動する際機枠1により各部の機構 が保護されるようになり、父金体が四角となるか らこれをポストンパッグ等に入れるのが極めて彩 易でまり、微単に持ち運びできるように方る等大 きた利益かある。

4. 図面の簡単を説明

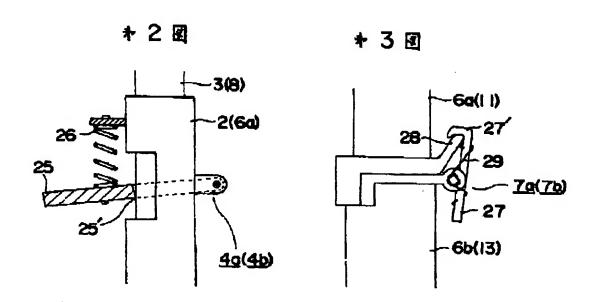
総1 図は本考案自転車の正面図、館2 図~第4 図は夫々ストッパーの説明図、第5 図はハンドル 折り畳み部の正面図、餌6 図はその平面図である。

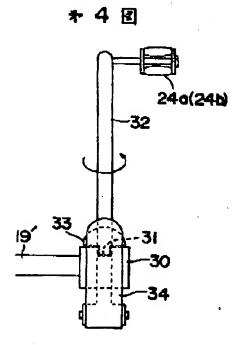
代理人 弁理士 海 木 誠 一



22132 1/3

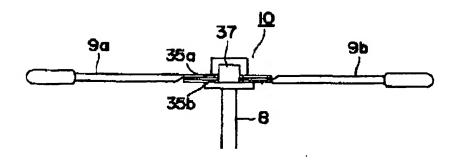
公開実用 昭和56-22182

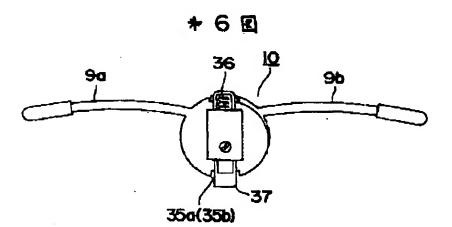




22182 3







22162 3/3

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ OTHER.

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.